

平成27年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成27年10月23日(金)			会場名	津沢コミュニティプラザ 会議室1・会議室2	
開始時刻	午後7時			終了時刻	午後8時35分	
参加者数	男	10人	女	4人	合計	14人
出席議員	宮西 佐作		砂田 喜昭		沼田 信良	
	福島 正力		藤本 雅明		山室 秀隆	
司会進行	石田 義弘 (議長)			記録	議会事務局	

議会報告会での意見交換(概要)

意見等の要旨	議員回答の要旨
<p>・学校給食について【事前提出あり】 前回の議会で完全米飯給食について質問があった。完全米飯に取り組むとすると、どのような問題点があるのか。具体的に教えてほしい。 今後、小矢部市としては完全米飯に取り組むことは可能なのか。前向きに考えているのかどうか教えてほしい。</p>	<p>市民の皆さんと同様の認識のもと、完全米飯給食の実施について、一部の議員が当局に対して質問をしています。 当局の答弁では、パン食に比べ、米飯の方が単価が高いことによる給食費の高騰や、献立の偏り、炊飯会社の調理能力など、様々な問題があるということでした。また、子どもたちの食生活が多様化しており、児童生徒の給食アンケートによると、週1回しかないパン食のメニューである揚げパンやソフト麺などを楽しみにしている子どもも多いということでもあります。 一方で、農業が基幹産業である本市にとって、全国的に米の消費量が減っているという現実には小さな問題ではないと思っています。 今後、教育委員会では、完全米飯給食にした場合の問題点を整理し、学校や児童生徒の要望も聞きながら実施の検討をしていきたいということですので、議会としても注視していきたいと思っています。</p>
<p>・女性の政治参加等について 女性が市政に関心を持つための取組が必要ではないか。 託児を設けたり、赤ちゃんの同伴も可能とすることで、議会のイメージも良くなると思う。</p>	<p>小矢部市では、女性議会が2年ごとに開催されています。女性ならではの視点で、新たな施策の提言が行われており、女性が市政に関心を持つ良い機会になっているのではないかと思います。 人口減少と高齢化が同時に進行している状況にあって、職場や地域社会、あるいは政治の世界にも、男女を問わず、多くの意見を取り入れることが必要になっています。市政への関心を高めるためにどのような方法が良いのか、議会としても考えていきたいと思っています。 ご提言のありました託児の設置や赤ちゃんの同伴を可能とすることについては、現時点ではあまり問題となっていないので、検討していないというのが正直なところです。 また、小矢部市議会では、乳幼児を連れた議会の傍聴を禁止しておりませんので、幼い子どもを連れた母親等の議会傍聴も可能になっています。多くの皆さんに議会傍聴にお越しいただきたいと思っています。</p>

平成27年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成27年10月23日(金)	会場名	津沢コミュニティプラザ 会議室1・会議室2
議会報告会での意見交換(概要)			
意見等の要旨		議員回答の要旨	
<p>・身近な議会とすることについて 高校生以下の子どもたちは未来の小矢部市を担う大切な存在である。議会体験や出張講座をするなど、子どもたちにわかりやすく身近な議会としてはどうか。</p>		<p>子どもたちが未来の小矢部市を担う大切な存在であることは、言うまでもありませんし、同じ認識を持っています。 過去には、大谷小学校の生徒が「総合的な学習の時間」の校外学習として、市役所を訪れ、議会の仕組みについて説明を受けた後、議場の見学もされています。 議会体験や出張講座などについては、現時点では検討していないというのが正直なところですが、議会を身近に感じていただくということでは、幅広い年代の方々に参加いただけるこの議会報告会も良い機会ではないかと思っています。 選挙年齢も「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられたところでもあります。若者や子どもたちに政治や選挙に関心を持っていただくにはどのような方法が良いのか、議会としても考えていきたいと思っています。</p>	
<p>・小矢部市の発展について 小矢部市が発展するには、やはり石動が発展しないといけない。石動駅周辺は、やはり交通の便も良いし、立地条件としては悪くないと思う。県は、国の研究施設等を誘致できないか検討している。小矢部市もあらゆる手段を使って、研究施設や専門学校などを誘致すべきではないか。人が集まる施設等を誘致することで、今はないビジネスホテルやマンション、飲食店などが増えると思う。駅周辺に公園や駐車場など人が集まらない施設ばかり作っていてもダメである。どのように考えているのか。</p>		<p>にぎわいの創出ということでは、商業施設やホテルの進出など、議員も提案しているところですが、ただ、民間事業者が行うことですので、市当局がいろいろと接触したり交渉したりしていることは把握していますが、交渉事でもありますので、あまり表に出せないこともあります。議員もアンテナを立てて、情報を得ながら、いろいろと提案していきたいと思っています。</p>	
<p>・市庁舎について 市庁舎は、いずれ建て替える必要がある。南砺市は分庁舎ということであるが、やはり老朽化している。砺波市についても、いずれは庁舎を建て替える必要はないだろうか。3市とも人口減少が進むことが明らかな状況である。3市の中心地に共同で庁舎を建設して、フロアごとに小矢部市・砺波市・南砺市に分けるなど検討してはどうか。</p>		<p>市庁舎の問題については、なかなか難しい問題だと思っています。 ただし、消防や介護保険については砺波地区広域圏で、ごみ等については高岡地区広域圏でそれぞれ対応していますが、砺波地区広域圏で見ても、津沢地区は地理的にはど真ん中の地域ではないかと思っています。 3市とも人口減少が進むことが明らかな状況ですので、今まで以上に広域で考えていくことが必要になるのではないかと考えています。</p>	
<p>・行政視察について 各委員会で行政視察研修を実施されている。視察先の施策の中で、小矢部市に早急に取り入れた方が良いという施策があれば教えてほしい。</p>		<p>今年の民生文教常任委員会の行政視察で、認知症は治るということを知ることができた。視察先の施設では、1日1.5リットルの水分を摂るということ、おむつを着用するのではなくトイレで用を足すようにすること、筋力トレーニングをすること。こうしたことの組み合わせで、入居当初は杖を振り回していた方が、会話できるようにまですべてのことであった。 こうした事例を見て来て、小矢部市でどう生かしていくのか。しっかりと理論を学ぶ必要があるのではないかと考えて提案しており、市当局も情報を集めると言っています。</p>	

平成27年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成27年10月23日(金)	会場名	津沢コミュニティプラザ 会議室1・会議室2
議会報告会での意見交換(概要)			
意見等の要旨		議員回答の要旨	
<p>・アウトレットモールの従業員アンケートについて 人口対策の観点から、アウトレットモールの従業員にアンケート調査を実施された。この結果を受けて、どのように対応していくのか。</p>		<p>アンケートの結果については、良い回答を得たと思っています。宅建協会や建設業協会の皆さんとも協議をしています。市内のアパートは満室の状況であり、市営住宅には空室が40戸ほどありますが人が住める状態ではないということです。 市も努力していますが、議会からも申し入れしていきたいと思っています。</p>	
<p>・行政視察について 各委員会の行政視察研修では先進地を訪問しているという報告があった。逆に、行政視察研修で小矢部市に来られる他市議会はあるのか。どのようなテーマで来られているのか。</p>		<p>北陸新幹線の開業等の影響もあり、小矢部市への行政視察件数は確実に増えています。 行政視察項目については、アウトレットモールの誘致や認知症地域支援体制の取組、おやべ型1%まちづくり事業などが多くなっています。</p>	